

◆ 事務局からのお知らせ

「改正建築基準法の解説」講習会のご案内

日時:平成27年5月20日(水)午後2時~4時30分

会場:富山産業展示館(テクノホール)2階会議室

(富山市友杉1682)

講師:富山県土木部建築行政担当職員

内容:改正建築基準法及び関係政省令等に関する解説

(平成27年6月1日施行)

建築CPD:2単位の申請予定(CPDカードをお持ち下さい。)

定員:先着順120名(どなたでも参加できます。)

参加費:テキスト込み 会員:7,000円 一般:9,000円

テキスト持参 会員:2,000円 一般:3,000円

※会員:建築士会及び(一社)富山県建築士事務所協会所属会員

申込:平成27年4月10日(金)~平成27年5月13日(水)までに建築士会事務局へFAXで申込み

送信先FAX番号:076-482-4448

※4月10日以降、建築士会のホームページから申込書をダウンロードして使用

(案内申込用紙は来月号の会誌にも封入します。)

問合先:建築士会事務局 担当:土倉、前川

◆ 住宅研究会からのお知らせ

「住宅研究会」第四回勉強会のご案内と研究会への参加のお誘い

日時:第四回:平成27年5月12日(火)19:00~20:30

会場:富山県建築設計会館3階会議室(富山市安住町7番1号)

講師:林 芳宏(空創建築計画事務所 とやま住まい情報ネットワーク住宅相談所相談員)

第四回テーマ:住宅相談の事例から考える問題回避の方法

内容:住宅の新築工事やリフォーム工事の設計・施工に際して契約内容、設計内容、施工内容に対して様々な問題が起き、それに対する相談件数は年々増えています。そこで、建築士や施工者に対してこれら相談事例を紹介し、問題を事前に回避できるような知識を得ることや、周囲に起きた問題にアドバイスできるようにし、安心できる家づくりをするための勉強会とします。(但し相談内容の紹介の際は、プライバシーに配慮します。)

建築CPD:1単位の申請予定(CPDカードをお持ち下さい。)

定員:10~15名程度(どなたでも参加できます。)

参加費:会員 無料 会員外 1,000円(資料代を含む)

申込先・申込期限:5月9日までメール又はファックスで下記まで

(E-mail:yoshi@ku-so.com FAX:0766-30-4370)

問合先:住宅研究会 担当:林(空創建築計画事務所)

TEL:0766-21-8542)

◆ JIA 北陸支部富山地域会からのお知らせ

「2015年度通常総会記念講演会」のご案内

日時:平成27年4月11日(土) 16:00~17:30

会場:富山国際会議場 2階 特別会議室(富山市大手町1-2)

講師:宮田 裕美詠 氏(グラフィックデザイナー)

演題:「グラフィックデザインの仕事とその周辺」

建築CPD:2単位の予定(申込の際にCPD番号をお伝え下さい)

定員:65名(どなたでも参加できます)

参加費:無料

申込先・申込期限:平成27年4月7日までメール又はファックスで下記まで

(E-mail:mail@miz-arch.net FAX:076-473-0345)

問合先:JIA 北陸支部富山地域会

担当:水野(水野建築研究所)

◆ 富山県建築士事務所協会からのお知らせ

「改正建築士法の解説」説明会のご案内

日時:平成27年6月10日(水)午後2時~4時40分

会場:富山産業展示館(テクノホール)2階会議室

(富山市友杉1682)

講師:富山県土木部建築行政担当職員及びDVD講習

内容:改正建築士法及び設計受託契約等のポイントに関する解説(平成27年6月25日施行)

建築CPD:2単位の申請予定(CPDカードをお持ち下さい。)

定員:先着順100名(どなたでも参加できます。)

参加費:テキスト込み 会員:4,320円 一般:6,480円

※会員:建築士会及び、(一社)富山県建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会北陸支部富山地域会所属会員

申込:平成27年4月20日頃~平成27年5月27日(水)までに富山県建築士事務所協会事務局へFAXで申込み

送信先FAX番号:076-442-1180

※4月20日以降、建築士事務所協会のホームページから申込書をダウンロードして使用、また、別途指定口座に参加費を前納する必要があります。

(建築士事務所には別途、案内申込用紙を送付します。)

問合先:事務所協会事務局 担当:河内、嶋作

平成 27 年 3 月 10 日

平成 27・28 年度代議員選挙結果

選挙管理委員会委員長 今村彰宏

9 支部の代議員選挙は 3 月 9 日に告示し、立候補届の提出は 3 月 9 日（月）17 時が締切でした。

同日 18 時から第 4 回選挙管理委員会を開催し、提出された立候補届を委員全員で確認したところ、全ての選挙区で選挙定数と同数の立候補届があり、立候補者全員を代議員に当選とし、選挙を行わないこととしました。

選挙区別の当選者は下記の通りです。

支部	人数（定数）	当選人名
新 川	10	東 光浩
		伊田 直樹
		大坪 辰弘
		金谷 勝彦
		経塚 正久
		土肥 義一
		松原 誠
		山口 実
		吉野 博行
		米田 正秀
中新川	3	川上 邦夫
		杉本 隆一
		武田 和正
上新川	2	庄司 雅紀
		水葉 幸治
富 山	16	飯野美代子
		稲垣 英優
		稲垣由希子
		今井 勇英
		岡崎 光晴
		桑田 政次
		小泉美江子
		小山 浩二
		酒井 康裕
		鈴木 保二
		富樫 武彦
		富樫 吉規
		中本 尚
		福村 仁志
		藤田 秀樹
		水野 久枝

支 部	人 数 （ 定 数 ）	当 選 人 名
婦 負	4	小澤 高夫
		下島 達雄
		谷川 雅夫
		松本 悟志
射 水	4	海老 正博
		高原 昌弥
		竹林 正宏
		林 博
高 岡	8	明元 茂喜
		大角 亮
		高畑 純
		中井 美幸
		林 千晶
		樋口 昌弘
		村上 考之
		和田 行弘
氷 見	2	笠島 一之
		草山 貞夫
砺 波	10	天野 一男
		蟹谷 哲
		可部谷利昭
		白井 宏嗣
		諏訪 淳
		長島 修
		南部 稔
		西村 潔
		森 泰造
		米田 正明
合 計 59 人		

＜ 大工 ＞

うえだ あきら
上田 昭 さん

富山市田島



昭和7年7月17日生れ

株式会社 上田工務店 取締役会長

「住宅づくりは信頼関係」

修行時代

国民高等小学校卒業後、13歳で岩木栄之助棟梁に弟子入りし、5年間の修行後、更に2年間のお礼奉公を終えた。この間親方の仕事を見て大工仕事を覚えました。

20歳になり、立山町の佐々木工務店で大工として働くが、これからは資格の時代になると思い、大工仕事をしながら2級建築士の勉強をし、昭和31年に免許を取得しました。その2年後、佐々木工務店の社長より、2級建築士を取得したことだし、今後のためにと、新潟県の姫川観光ホテル新築工事現場を管理してほしいといわれた。初めて仕事を任せられ、心配で迷ったが若いうちに勉強したいと思い引き受けました。

仕事

今まで、大工仕事しかしてこなかったのに現場管理を任せられ、どこから如何にすればよいのか色々迷い、一つ一つ見たり聞いたりして自分なりに考え、それを職人に伝え、施主様とも話したりと日々考えながら、お客様に満足してもらえるようにとの一心で仕事に励みました。

そして完成したが、その時の気持ちは、今でも忘れられない。若く何もわからない未経験の自分があのようなことを、よく出来たもんだなあと思、振り返って見て思います。

昭和34年、石川県輪島の新橋旅館新築工事現場の管理などを終え、昭和35年に富山市の新富建設に入社しました。一般住宅設計管理、現場管理と色々な経験をさせて頂いた。38歳の時、自分の技術を生かしたいと思い独立することを決意し、昭和45年に上田工務店を設立しました。

昭和47年、太平住宅の専属工務店として、年間40棟程の住宅を建ててきた。多い時は、大工35人を抱えていました。



作業場

住宅

今まで沢山の住宅を建ててきたが思い出に残る、自分なりに納得のいく自慢の仕事といえば、富山市大沢野の中沼邸（茶室付き）、富山市秋吉の成田邸（檜造り）、富山市浜黒崎の富山常楽寺離れ、上市町の西川邸（茶室付き）です。桧、櫟などの木材の選定は全部自分で産地に出向き選んだ建物です。



西川邸茶室



西川邸外観

家づくり

家造りの基礎は、大工仕事だと心に置き、昔からの日本の伝統建築を守り、お客様に喜んでもらえるように、その家に愛着を持って仕事をするのを大工に伝え、各職人にも上田工務店の理念として携わってきました。

2,3年前までは手刻みによる家造りを行ってきたが、時代の流れとあきらめ、今はコスト面からプレカット工法を採用しています。

昔、私達は平面と姿図、小屋伏図しか図面が無かったので、頭の中で構造図を思い描いて大工仕事に取り掛かっていましたが、今は設計者が詳細に記載するのでお客様とのトラブルもなくなったと思います。

大工道具は、昔から正月には、床の間に飾っていたが、今はもう何十年も使っていないので道具に対して申し訳ないと思っています。

取材を終えて

上田さんと話していると、修行時代からの仕事に対する熱意が伝わってきました。

特に、木材に対する思い入れの強さ、そして職人さんとの協働作業や、お客さんとの信頼関係を何より重視してやってこられたのだと感じました。

(文・写真：金山 泰夫)

＜ 建築大工 ＞

まるた かずしげ
丸田 和重 さん

黒部市中陣

「父を見て」



昭和 26 年生まれ
増改築相談員
1 級技能士
2 級建築士
丸田建築代表
現在富山県建築組合連合会会長

中学卒業と同時に弟子入りするも！

父親の丸田梅作さんは、東京で大工をしていて、終戦後富山にもどって大工を続けていた。

父の仕事を見ていた和重さんは、中学卒業と同時に父親に弟子入りする。父いわく、息子には「他人の飯を食う」がごとく 5 年間仕込んでもらった。父親は町家も農家住宅も造っていたが、伝統工法の民家でも東京流の筋交いを入れるやり方だった。

しかし、どうしても親子の関係から仕込がゆるくなるので、その後、他の工務店へ弟子入りした。そこでは、日本古来の建築技術を勉強する。職業訓練校には行かなかったが、雄峰高校で勉強しながら青春をすごした。

その後、転勤した工務店は、最新鋭機械を導入した工務店で、最新技術を勉強する。いろいろな技術を学んだほうが自身の能力向上につながるの思いから日々努力に励んだ。

努力の甲斐が実り昭和 60 年に丸田建築を立上げ現在にいたる。

仕事は多いが、高温多湿、降雪量の多いこの富山の気候風土を考慮した住宅づくりをはじめとし、築百年以上経過した古民家再生も行っている。



明治 20 年築・再生の工事中



再生完成

大工の仕事の変遷と心

地元大工として 7～80 棟の住宅を作ってきたが、地元消防団にも参加すると共に、業界団体の活動にも取り組み、平成に入って、建築組合連合会の青年部議長になったのをかわきりに、平成 7 年から 15 年まで黒部地域建築組合長を務め、現在は富山県建築組合連合会長の要職にある。

その間、時代が大きく変化してきた。手刻みで枘穴を掘っていた時代から、電動ドリルになり、鉋がけが機械鉋になって仕事は楽になったが、プレカットが登場し、大工の仕事が大きく減少してしまった。

最盛期の建築組合の会員数は 8 千人と言われているが、現在はその 1／2 に減少しているとのこと。

住まいづくりが工期を短くコストを下げることで競争になる時代になると、新築工事での手刻みの仕事が残るのは難しいことになった。

しかし、改築やリフォームの場では手刻みの技術は不可欠でこれからの時代にも必要になるということで、県の大工支援事業による、若手大工への手刻み技術の実習事業をやっている。

大工の仕事が、木材の木取りに始まり、墨付けから、刻みまでの手仕事だった時代の技術が失われようとしているが、手仕事の難しさや厳しさがあってこそ達成したときの喜びも大きかった。大工は元請けとなり、住まい造りの頂点だったからでもある。

丸田さんは常日頃、お客様のご要望にお応えする事に心がけ、木造建築の伝統在来軸組工法にて、誠実・安全・安心をモットーとして、仕事をしてきた。思い出に残るものは幾つもあるが、すべての仕事が難しかったと謙遜される。木のぬくもりを感じる快適な住宅で健康的な暮らしが出来る住宅建築を日々追及している地域に密着した富山の木工の親方さんです。



国土交通大臣表彰祝賀会

(文・写真：間部宏一郎&事務局)

※ 職人アーカイブの連載は今回で終了します。 ご愛読ありがとうございました。